

※ご自由にお持ち帰り下さい



# ほっとたいむ

財団法人 福岡県社会保険医療協会  
社会保険 稲築病院

<http://www.inatsukihospital.jp>



社会保険稲築病院 広報誌  
発行日 2011.10 NO.9

#### 医療理念

- 1 患者中心の医療
- 1 医療の質の向上
- 1 地域社会に合った手作りの医療
- 1 安心と信頼を持たれる病院づくり

#### 目次

◆薬剤部 (薬の飲み合わせ・湿布)	..... P1-2
◆HELLO!放射線部	..... P3-4
◆行事案内	..... P5
◆行事報告	..... P6
◆診療案内	..... P7

# 薬剤部

## 1) 薬の飲み合わせ

Q：水なしで薬をそのまま飲むことは？

A：薬が食道に引っかかったまま溶けだし、食道の炎症を起こして潰瘍になったり、気管に入ってしまう、肺炎を引き起こした例もあります。現在では、水なしでも飲めるお薬もありますが、水または白湯を数回に分けて飲むよう心がけましょう。

Q：薬をお茶で飲むのは？

A：一部の薬の成分が、お茶のタンニンと反応して吸収されづらいことがあります。出来るだけコップ一杯の水、または白湯と一緒に飲みましょう。

## 注意したい飲み合わせ

### ①ジュース(柑橘系、特にグレープフルーツジュース)

一部の高血圧のお薬はジュースで分解が妨げられ、薬の効果が強く出てしまうことがあります。また、一部の抗生物質ではジュースにより成分が分解され、効果が弱まったり、コーティングが溶けて苦味がでることがあります。

### ②お酒

アルコールで飲むことは絶対避けてください。薬の作用が弱くなったり、逆に強くなるだけでなく、アルコールで薬の成分が分解されたり本来期待された以外の作用が表れることがあり、大変危険です。

## 2) 湿布のお話

よくある疑問にお答えします・・・



### 自分の症状にあった湿布とは？

急激に起こったような捻挫、打撲は、24 時間から 48 時間は冷やすのが基本になります。慢性化した症状で、温湿布を当ててみて調子が良い時は、温湿布の使用が良いでしょう。

### 温かい湿布と、冷たい湿布の違いは？

これは添加物の違いです。

温かい湿布には、唐辛子の成分が入っていて、皮膚を刺激する為に「温かい」と感じます。唐辛子を食べると「熱い」と感じるのと同じことなのです。

冷たい湿布は、少しひんやりした感じがしますが、これは感じがするだけで本当に冷やしている訳ではありません。

### 塗り薬と湿布の違いとは？

薬の成分は一緒です。塗り薬の良いところは、かぶれにくいこと、又使っているのがわからないことです。湿布の良いところは、効果が長持ちしやすいことです。

湿布薬については、1 日 1 回使用の製品、1 日に 2 回使用の製品、又はジェネリック薬品の湿布等種類も沢山あります。主治医によく相談して、自分の症状にあった湿布を処方してもらいましょう。

# HELLO!

# 放射線部

## 部門紹介

当院の放射線部は、診療放射線技師3名、助手1名により、患者様のX線（レントゲン）検査を担当させて頂いております。

診療放射線技師は、患者様に対し胸部、腹部、骨などのX線撮影はもとより、胃や腸の造影検査、血管造影検査、CT検査、MRI検査、放射性医薬品を使用する核医学検査などの画像診療から、高エネルギーX線、電子線、粒子線による放射線治療まで幅広い放射線診療業務に携わることができます。

当院においては、内科で必要な胸部・腹部のX線検査、胃や腸の造影検査、整形外科に必要な骨・関節などのX線検査、およびCT検査、骨密度検査などを行っています。

大病院のような最新鋭の機器はありませんが、患者さまに、安全に安心して検査を受けていただくことを目標として、技術や知識の研鑽に励んでおります。



昇降式立位撮影台

## 放射線部の自画自賛

ご高齢の患者様で歩行時に膝に痛みが出る変形性膝関節症には立位による膝関節のX線検査が有効です。この検査を行うために上の写真のような装置を使用しています。

丈夫な手すりを使用し、患者さんの安全性と安定性を確保することができるようになっています。

また、最低段差が13cmと低く、手すりを持つことにより昇降台への乗降も容易に行えます。

その他にも、脊柱側弯症の計測のための立位全脊椎撮影や扁平足の評価のための足部立位側面撮影などにも使用します。

筑豊地域の病院でこの装置が導入されているうわさは聞いていないので、当院のみの特色だと自画自賛しているところです。

## 医療に使われる放射線

今年の3月11日の未曾有の東日本大震災から7ヶ月が過ぎようとしています。特に、東京電力福島第一原子力発電所において大津波による過酷な事故（原発事故）が発生しました。それは、今まで日本において経験したことのない放射性物質の放出という深刻な事態でした。

その一方で内閣官房長官は、「ただちに影響は出ない」という曖昧な発表したため、これを耳にした国民、特に福島県民においては「将来には影響が出るのではないか」とかえって不安を募らせたのだと思います。

その後、「胃のレントゲンに比べて・・・」というコメントが出たため、医療現場ではX線検査による被ばくの心配による問い合わせが多くなりました。

当院でも、「この検査による被ばく線量は何ミリシーベルトですか？」や「この検査で身体にどの程度影響しますか？」などの質問が多くなったのも事実です。

そこで最初に、『医療に使われる放射線』について説明したいと思います。

## X線(レントゲン)について

南ドイツのロマンチック街道の北端に位置する学園都市ヴュルツブルクで1895年暮れ、ヴュルツブルク大学の物理学教授レントゲン博士は新種の光線を発見しました。真空放電の実験中に偶然発見されたこの光線は、「未知のもの」と言う意味を込めて「エックス線」と名づけられました。



W. C. レントゲン博士

この功績によりレントゲン博士は、第一回ノーベル物理学賞を受賞しています。

日本においても、翌1896年には博士の論文を基にして、X線発生の実験とX線写真の撮影実験が開始されました。

一般的に言うレントゲン撮影のX線は、人工的に作られたものです。下図の真空管の中のフィラメントに高電圧をかけたとき出現する電子が、タングステンという金属で作られた焦点面に当たるとX線を発生するという仕組みです。



この原理を利用して、胸部・腹部・骨などのX線検査、CT検査、胃や腸の造影検査は行われています。

ちなみに、当院で撮影される胸部X線撮影では、平均0.03秒間しかX線はでていません。

## 放射性物質について

X線の発見の翌1896年パリ工科大学教授のベクレル博士は、「X線と同じような放射線がウランから出ている」ことを発見しました。

さらに2年後の1898年、ピエールとマリのキュリー夫妻が、ウラン化合物から、ウランより強力な放射線を出す物質の分離に成功しました。「放射線を出す元素」と言う意味の「ラジウム」の発見であり、「放射能」という表現をはじめて用いたのもキュリー夫妻です。



ベクレル博士



キュリー夫妻



ベクレル博士の功績をたたえ、放射能の量をはかる単位としてベクレル(Bq)が使われています。

また、X線が医療に用いられたのと同じように、ラジウムが放出する放射線は、のちに癌治療に用いられるようになりました。

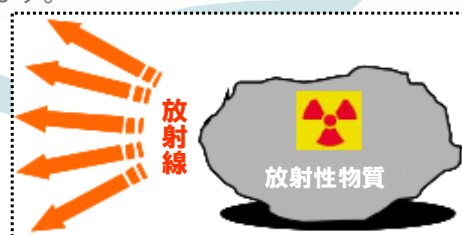
そのほかの放射性物質を利用した検査に、核医学検査があります。骨シンチやガリウムシンチ、最近話題のPET検査などは、**放射性同位元素**(ラジオアイソトープ)という放射性物質を癌などに集まりやすい医薬品と混ぜて静脈注射により体内へ入れて、いつかの時間経過したあと、ガンマカメラやPETCTなどの装置により検査します。

## 放射線と放射能

放射線と放射能とは、一般的に混同されることが良くありますが、大きな違いがあります。

数多くある元素の中には、その原子核の中が不安定で、ひとりてに壊れて別の原子核に変わるものがあります。そして、壊れるときに放射線を出します。このようなものを**放射性同位元素**といいます。

つまり**放射能**とは、ひとりてに壊れて放射線を出す能力(性質)のことをいい、放射能をもつ物質を**放射性物質**と呼びます。放射能は、時間とともに減少していきます。



放射能 → 放射性物質が放射線を出す能力

この関係を「懐中電灯」でたとえると、放射線は懐中電灯からの「あかり」に相当し、放射能は懐中電灯がもっている「あかりを放つ能力」という説明になります。電池の消耗とともに光が弱くなり、やがて消えてしまいます。

また、報道などで耳にする「放射能漏れ」とは、正確には「放射性物質が漏れた」ことを意味します。

次回に続く

## 筆者の独り言

今回の原発事故の誘発とあいまって、放射線の量や単位の意味が分からないばかりか、数値のもつ意味合いも分からず戸惑っている国民も多いことだろう。

原発反対の評論家は、大変危険な状態になっていると言い、逆に原発推進の評論家は、これくらいは心配いらないと伝えた。そのために世間の不安が収まるどころか増大していった。

一部の専門家が、将来の癌の危険性がどの程度か説明したが、国民が安全だと実感するには不十分であった。

安全を実感してもらうには、被ばくによる影響を分かりやすく説明するとともに、健康管理を充実させることで安心感を醸成することが望まれる。

(T. K)

# 行事案内

## いなつきウォークラリー

毎年恒例の「いなつき友の会ウォーキング」が、11月5日（土）に開催されます。

今年5月に国内初の「世界記憶遺産」となった山本作兵衛氏の絵画を田川歴史資料館で楽しみ、筑豊ハイツ、糸田道の駅までの行程となっております。

【※参加申込はすでに締め切らせていただきました。】

次回号で参加者の声をお届けしたいと思っておりますので、ご期待下さい！



## クリスマスのタベ

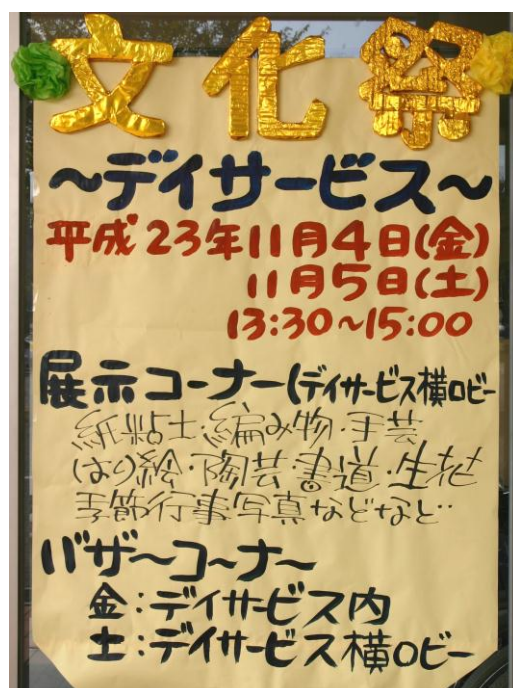
平成23年12月22日（木）にクリスマスのタベをデイサービスセンターにて開催致します。毎年ダンスや歌、エレクtoon演奏などいろいろな演目があり、またサンタとトナカイからのささやかなプレゼントが贈られ、会場の皆様にも大いに楽しんで頂いております。

## デイサービス・デイケア文化祭

デイサービスセンター前ロビーにて文化祭を開催致します。例年どおりデイケア・訪問リハビリのご利用者様の作品も加わり盛大に行われています。

書道・生花・手芸・編み物・ちぎり絵・紙粘土・年間行事写真展の展示品コーナーや毎年好評のバザーもあり、お抹茶とお茶のサービス（無料）もあり、大人気の新米のつかみどりなど盛り沢山の文化祭となっております。

まだご覧になってない方は、是非お気軽にお越しください。職員一同、お待ちしております。



## 行事報告（敬老会・病棟）

9月15日（木）リハビリ室にて敬老会を行いました。病棟の出し物では、ソーラン節やマルモの踊り、演劇など行いました。毎日の入院生活の中で少しでも患者様に笑顔や元気を与える事が出来ればと、ケアワーカー委員会が中心となり、練習と準備を行っています。来年も心に残る敬老会にいたしますので、是非見に来て下さい。



## 行事報告（敬老会・デイサービス）

9月16日（金）、17日（土）と2日間にわたり敬老会を実施しました。今年は最高齢99歳をはじめ、23名の90歳以上の利用者様へお祝いたしました。今年はふとん泥棒を題材として演劇『水戸黄門』で楽しんで過ごしていただきました。来年も皆様に喜んでいただける催し物を準備致しますので、乞ご期待のほどを。

